

母子感染防止に関する研究班
(全国アンケートによる実態調査)

森島恒雄⁽¹⁾ ・ 山崎俊夫⁽²⁾

要約：TORCH Complexおよび水痘ウイルス母子感染について。

各、病原体毎にワーキンググループを作り、母子感染の現状について討議を重ねた。そこで得られた結果から以下に示す内容のアンケートを作成し、これを全国の小児科2,245施設、産婦人科1,153施設、眼科1,197施設に発送した。現在、その返送を待つて解析を行うところである。

見出し語： 母子感染 ， 先天性トキソプラズマ症 ， サイトメガロウイルス ，
新生児ヘルペス ， 水痘ウイルス母子感染

名古屋大学小児科⁽¹⁾

藤田保健衛生大学小児科⁽²⁾

母子感染実態調査の御願い

謹啓

今年の夏はとくに暑い毎日が続いておりますが、先生方には御健勝に御活躍のことと存じます。

今回、厚生省「母子感染防止に関する研究班」として、3年間にわたり調査をしておりますが、この度、TORCH Complex を中心とした母子感染の全国的な実態調査が必要であるとの結論に達しました。その目的として、1、今まで我が国において、総合的な母子感染の全国規模の成績がなく、種々の病原体の母子感染の実態が不明であったこと、2、生活環境の変化に伴い個々の母子感染症の頻度、重症度などが変化している可能性があること、3、この実態調査から得られた結果から、有効な母子感染予防対策を立てていくこと、があげられます。

具体的には単純ヘルペスウイルス、サイトメガロウイルス、トキソプラズマ、水痘帯状疱疹ウイルスの母体の感染の児に及ぼす影響について同封の質問用紙を準備し、これを全国の産婦人科、小児科、眼科の先生方に御送りした次第です。

上記の趣旨を御理解いただき、ぜひ、アンケートに御記入いただけるよう御願い申し上げます。なお、個々の患者さんのプライバシー保護には充分配慮したいと思います。

今回の調査結果がまとまりしだい、後日先生方のお手元に御届けする予定です。夏休み中御多忙のところ、誠に恐縮ですがよろしく御高配の程、御願い申し上げます。

-アンケート締切 平成6年9月末日 -

平成6年7月

厚生省母子感染防止に関する研究班
(代表 東京大学分院産婦人科 川名尚)
(アンケート集計 名古屋大学小児科 森島恒雄)

班員および班友 (順不同)

川名 尚 (東京大学医学部分院産婦人科)、加藤高明 (東京大学医学部分院産婦人科)、
藤井 仁 (都立築地病院)、末原則幸 (大阪府立母子保健センター)、
矢吹朗彦 (石川県立中央病院産婦人科)、森島恒雄 (名古屋大学小児科)、
菅村和夫 (東北大学医学部細菌学教室)、松永泰子 (国立予研感染症疫学部)、
山崎俊夫 (藤田保健衛生大学小児科)、千葉峻三 (札幌医科大学小児科)

母子感染実態調査アンケート

-1992、1993年の症例について御知らせ下さい-

貴施設名	御記入者	貴院年間分娩数 (約)
_____	_____	_____

単純ヘルペス (新生児ヘルペス)

1. 貴院にての新生児ヘルペス発症例について御知らせ下さい

1992 ___例(全身型 ___例、皮膚型 ___例、中枢神経型 ___例、その他 ___例)
1993 ___例(全身型 ___例、皮膚型 ___例、中枢神経型 ___例、その他 ___例)

2. 診断について

1. ウイルス学的に確定 (HSV 1 型 ___例、HSV 2 型 ___例)
2. 病理/血清診断 ___例
3. 臨床症状から ___例

3. 予後 (○をつけて下さい)

1. 死亡 ___例
2. 重度後遺症 (日常生活不可) ___例
3. 軽度後遺症 (日常生活可能) ___例
4. 正常 ___例

4. 感染経路 (○をつけて下さい)

- | | |
|----------------|-------------------------------|
| 1 母親より (確定、推定) | A 母親性器ヘルペス: 無, 有 |
| 2 父親 | B 性器ヘルペス病型 (急性、誘発、再発) |
| 3 その他 | C 母からのウイルス分離: 無, 有 (HSV ___型) |
| 4 不明 | D 母親の口唇ヘルペス: 無, 有 (HSV ___型) |

5. 治療又は予防処置 (○をつけて下さい)

- 1 帝王切開を 1. した ___例 2. しなかった ___例
- 2 母親への抗ウイルス剤 (経口剤、外用剤、なし)
- 3 児に対して 予防投薬 (あり、なし)
治療 (アシクロビル、ピダラビン、その他 _____)

6. 新生児ヘルペスについての先生の御意見をお聞かせ下さい

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 10年前に比べて発症数は | 2. 10年前に比べて重症度は |
| 1. 増加している | 1. 軽症化している |
| 2. 減少している | 2. 重症化している |
| 3. 変化なし | 3. 変化なし |

先天性サイトメガロウイルス感染症

サイトメガロウイルスの胎内感染（子宮内感染）について

1. 貴院での発症数

1. 無 , 2. 有 1992 _____ 例
1993 _____ 例

2. 出生時の児の症状に○をつけて下さい

(複数の症例の場合コピーして下さい)

- | | | |
|-----------------|------------|--------------|
| 1 死産、流産 | 2 低出生体重、 | |
| 3 肝脾腫 | 4 紫斑、血小板減少 | |
| 5 貧血、黄疸 | 6 肝機能異常 | |
| 7 小頭症、水頭症、脳内石灰化 | 8 けいれん | |
| 9 網膜症・白内障 | 10 肺炎 | 11 その他 _____ |
| 12 なし | | |

3. 母親のCMV感染時期

1 初感染（妊娠 _____ 週頃）、 2 既感染、 3 不明

4. 児の続発症状

1 感音性難聴 2 精神発達遅延 3 運動発達障害
4 てんかん 5 肝炎 6 その他 _____ 7 なし

5. 診断

1. 確定：ウイルス分離（部位 _____、生後 _____ 日目）

2. 推定 1 血清診断
2 PCR法（検体 _____）
3 臨床症状から
4 その他

6. 予後

1 死亡 2 重度後遺症（日常生活不可）
3 軽度後遺症（日常生活可能） 4 正常

7. 最近の動向について先生の御考えを聞かせて下さい

先天性サイトメガロウイルス感染症は
1 増加している 2 不変 3 減少している
4 その他

先天性トキソプラズマ症について

1. 貴院で先天性トキソプラズマの発症は

1. 無 , 2. 有 → 1992年 _____ 例
 1993年 _____ 例

有の場合

2. 診断

1. 確定	→	診断時期
2. 推定		1 妊娠中
		2 出生時
		3 _____ 才頃

3. 症状 (○をつけて下さい)

1 網脈絡膜炎	2 小眼球症/網膜症	3 低出生体重/IUGR
4 肝脾腫	5 黄疸	6 リンパ節腫大
7 肺炎	8 貧血	9 痙攣
10 水頭症	11 小頭症	
12 髄液異常	13 脳内石灰化	14 その他 _____

4. 診断

1. 確定診断	診断法	→	1 Dyeテスト 2 ラテックス凝集法 3 ELISA法 4 IHA (間接血球凝集法) 5 IFA (間接蛍光抗体法) 6 その他
2. 本症の疑い	(○をつけて下さい)		

5. 治療法

母体：治療	1. しなかった , 2. した	→	1 アセチルスピラマイシン
			2 ピリメタミン
			3 その他
児 : 治療	1. しなかった , 2. した	→	1 眼科的治療
			2 ピリメタミン
			3 その他

6. 近年の先天性トキソプラズマ症について御考えを聞かせて下さい

1. {	1 ない	2. {	A 増加している
	2 10年間に1~2例ある		B 不変
	3 1年間に1例		C 減っている
	4 1年間に数例以上経験する		D 不明

水痘（先天性水痘および出生後水痘）について

1. 先天性水痘（経胎盤感染）について

症例 1.有（19 年頃）， 2.無

有の場合

- (1) 母親の水痘 在胎 週頃
- (2) 児の症状（○をつけて下さい）
 - 1.流産・死産
 - 2.瘢痕性皮膚病変
 - 3.眼症状（白内障、網脈絡膜炎、小眼球症、他_____）
 - 4.四肢の形成不全
 - 5.大脳皮質の萎縮
 - 6.精神発達遅延
 - 7.その他_____
- (3) 診断
 - 1.ウイルス学的診断（ウイルス分離、抗原の検出）
 - 2.臨床症状
 - 3.血清診断

2. 出生後(分娩時)水痘 (母親の分娩前後の水痘が児に感染したもの)

妊婦 1.無 , 2.有→ { 1992 例 児の発症 1.無 , 2.有→ { 1992 例
1993 例 1993 例

児の発症有の場合

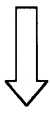
(複数の場合コピーして下さい)

- (1) 妊婦の水痘発症（出生日を○として十・一 日）
- (2) 児の水痘発症：1.無 , 2.有（ 日）
- (3) 児の水痘重症度（○をつけて下さい）
 - 1 死亡 2 重症（合併症_____） 3 普通 4 軽症
- (4) 治療（○をつけて下さい）
 - 母親（ 1水痘高力価グロブリン 2アシクロビル 3その他_____ 4無）
 - 児（ 1水痘高力価グロブリン 2アシクロビル 3その他_____ 4無）

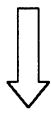
3. 妊婦の水痘又は帯状疱疹について先生の御意見を御知らせ下さい

- (1) 貴院での近年の経験について（○をつけて下さい）
 - 1、水痘 { 1、年間 例
2、数年に1例 2、帯状疱疹 { 1、年間 例
3、なし 2、数年に1例
3、なし
- (2) 妊婦の水痘罹患は近年
 - 1、増加している 2、不変
 - 3、減っている 4、不明

御意見を御聞かせ下さい



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:TORCH C complex および水痘ウイルス母子感染について。

各、病原体毎にワーキンググループを作り、母子感染の現状について討議を重ねた。そこで得られた結果から以下に示す内容のアンケートを作成し、これを全国の小児科2,245施設、産婦人科1,153施設、眼科1,197施設に発送した。現在、その返送を待つて解析を行うところである。